

第3回 冬眠休眠研究会

開催日時： 2019年 7月20日（土）13:00-17:00
7月21日（日） 9:00-13:00
場 所： 国立研究開発法人理化学研究所 神戸研究所 C棟オーデトリウム
主 催： 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター
網膜再生医療研究開発プロジェクト研究室
世 話 人： 砂川 玄志郎 genshiro.sunagawa@riken.jp

Hibernation and Torpor Meeting #3

Saturday July 20, 2019 13:00-17:00

Sunday July 21, 2019 09:00-13:00

Auditorium, RIKEN (Center for Biosystems Dynamics Research)

Contact: Genshiro A. Sunagawa, Laboratory for Retinal Regeneration (Tel. 078-306-3305)

冬眠・休眠は哺乳類の有する驚くべき省エネ機構である。通常であれば死に至るような低代謝・低体温状態で生体を維持すること、危機的状況を切り抜けることは生物学としての面白さのみならず、医学応用の可能性も秘めており、近年注目を集めている。しかし、日本国内における冬眠研究の情報交換の場は限られている。そこで、2017年から新しい時代にあわせて日本の冬眠・休眠の研究者同士が意見を交換し議論を尽くす場として冬眠休眠研究会を開催している。第3回となる今回は、冬眠休眠の原理解明、制御メカニズムについての理解を深めるための議論だけではなく、今後どういった方向で研究を進めていくとこの研究分野が発展していけるのかという意見交換を行うことも目的である。今回は線虫の温度走性の原理解明に多大な成果をあげている久原篤先生（甲南大学・統合ニューロバイオロジー研究所）に特別講演を依頼した。個体の温度感受性は冬眠休眠の制御とは切っても切れない関係にあり、今後の冬眠休眠研究に大いに参考になると思われる。本会は現時点で日本唯一の冬眠・休眠に特化した研究会であり、同分野の今後の発展を支えるために不可欠な会となりつつある。したがって、波及効果として日本における冬眠休眠の研究のレベル底上げ並びに研究ソサエティの規模拡大を期待している。

7月20日(土)

12:00 - 開場

12:50 - はじめのことば

13:00 - 14:15 第1部 25分×3演題

坪田 敏男 (北海道大学大学院獣医学研究院)

クマ類の冬眠と繁殖について

宮崎 充功 (北海道医療大学)

冬眠中クマ血清によるヒト骨格筋培養細胞のタンパク質代謝制御の変化

Oleg Gusev (KFU-RIKEN "Translational genomics" Unit, RIKEN)

CAGE analysis of hibernation-associated changes in gene expression in edible dormice

14:15 - 15:35 コーヒーブレイク

14:35 - 15:50 第2部 25分×3演題

西 英一郎 (滋賀医科大学 薬理)

体温恒常性維持におけるナルディライジンの役割

吹田 晃享 (理研 BDR 網膜再生医療研究開発プロジェクト)

マウス **Torpor** の近交系での比較

山口 裕嗣 (脳視床下部によるマウス日内休眠の制御)

名古屋大学環境医学研究所

15:50 - 16:20 休憩&網膜再生医療研究開発プロジェクト ラボ見学(希望者)

16:20 - 17:20 特別講演

久原 篤 (甲南大学・統合ニューロバイオロジー研究所)

線虫 *C. elegans* の低温耐性の分子・組織ネットワーク

17:20 - 17:50 研究室紹介

17:50 - 18:00 おわりのことば

18:00 閉会

19:00 情報交換会

7月21日(日)

09:00-10:15 第3部 25分×3演題

渡邊 正知 (福山大学薬学部)

シリアンハムスターの体温制御における脳内産生硫化水素の役割

堀井 有希 (岐阜大学大学院 連合獣医学研究科 獣医生理学研究室)

シリアンハムスターにおける Cold-inducible RNA-binding protein の選択的スプライシング調節

山口 良文 (北海道大学低温科学研究所)

シリアンハムスターが冬眠期に示す骨格筋タイプシフト

10:15-10:35 コーヒーブレイク

10:35-11:50 第4部 25分×3演題

荻沼 政之 (群馬大学 生体調説研究所)

生命活動休止システム「休眠」の分子基盤と意義の解明

塚本 大輔 (北里大学 理学部 分子生物学講座)

概日性の熱ショック転写因子 HSF1 による HSP70 遺伝子の冬眠期における転写調節機構

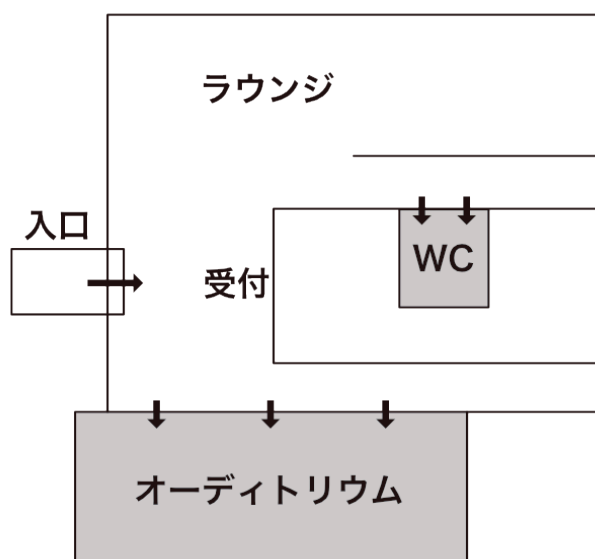
砂川 玄志郎 (理研 BDR 網膜再生医療研究開発プロジェクト)

マウス休眠をモデルとした能動的低代謝の研究: 骨格筋における休眠特異的遺伝子発現の解析

11:50-12:20 総合討論

12:20-12:30 おわりのことば

12:30 閉会



[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター (BDR)

網膜再生医療研究開発プロジェクト

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2-2-3

Tel.: 078-306-3305; Fax.: 078-306-3303; e-mail: genshiro.sunagawa@riken.jp

[参加申し込み]

研究会ホームページ <https://torpor3.herokuapp.com/> にて参加をお申し込みください。

参加費無料。2019年7月1日正午が締切です。

[個人情報に関する取扱について]

ご記入いただいた個人情報は、参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。

